



平成23年3月1日

各 位

上場会社名 巴工業株式会社
 代表者 代表取締役社長 塩野 昇
 (コード番号 6309)
 問合せ先責任者 経理担当取締役 前田 夏彦
 (TEL 03-5435-6512)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年12月10日に公表した業績予想を下記の通り修正しましたのでお知らせ致します。

記

業績予想の修正について

平成23年10月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成22年11月1日～平成23年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	22,600	1,380	1,370	760	76.16
今回発表予想(B)	22,500	1,700	1,750	980	98.21
増減額(B-A)	100	320	380	220	
増減率(%)	0.4	23.2	27.7	28.9	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年10月期第2四半期)	19,571	1,647	1,754	1,139	114.21

修正の理由

平成23年10月期第2四半期累計期間の業績につきましては、中国深センにおける現地法人のコンパウンド事業(化学工業製品販売事業)が商流の変化他から売上高減少の傾向にあることなどを主因として、連結売上高が当初予想(平成22年12月10日)を下回る見通しとなりました。一方その連結利益に関しては、機械製造販売事業における原価率と経費率が低位で推移しつつあること、化学工業製品販売事業の輸入商材全般に亘る円高効果が持続しつつあることなどに基づいて、当初予想を上回る見通しとしております。

尚、平成23年10月期通期の業績につきましては、機械製造販売事業で北米の油井向け機械の販売増加が見込まれることなどが第2四半期累計期間の売上高未達を補うとみられ、また、第3四半期以降においては、機械製造販売事業に係わる原価率と経費率の緩やかな上昇と、化学工業製品販売事業に係わる中国現法の収益未達並びに国内の円高効果剥落などを見込むことから、全体の連結売上高、同利益共にその当初予想を変更しておりません。

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載した業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報、および合理的であると判断する前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因の変化によりこれとは異なる可能性があります。

以 上